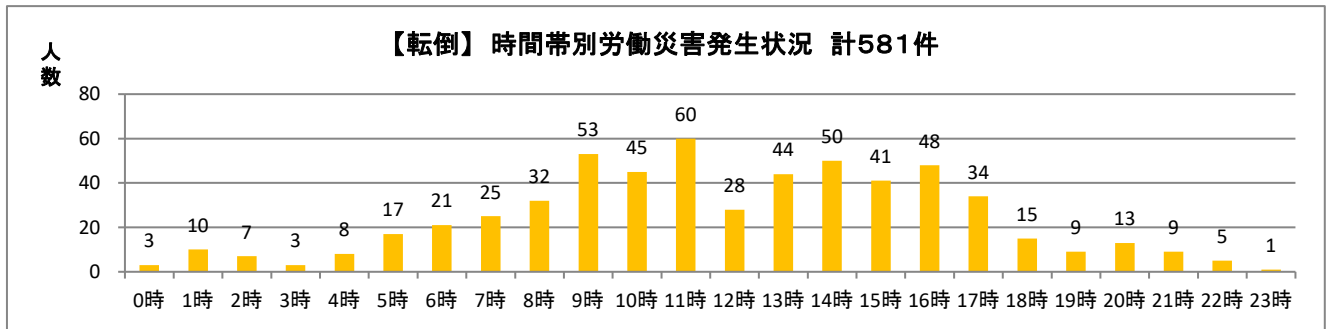
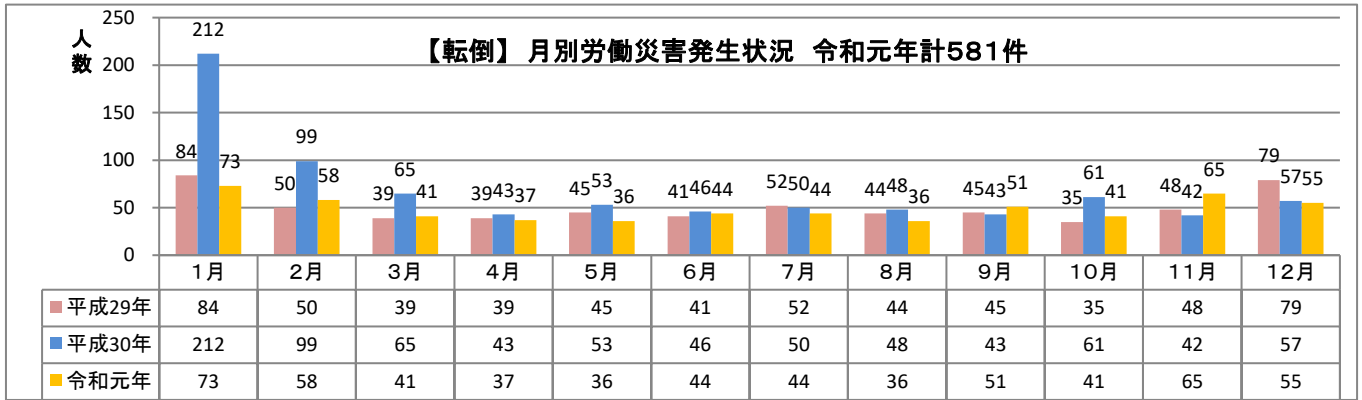
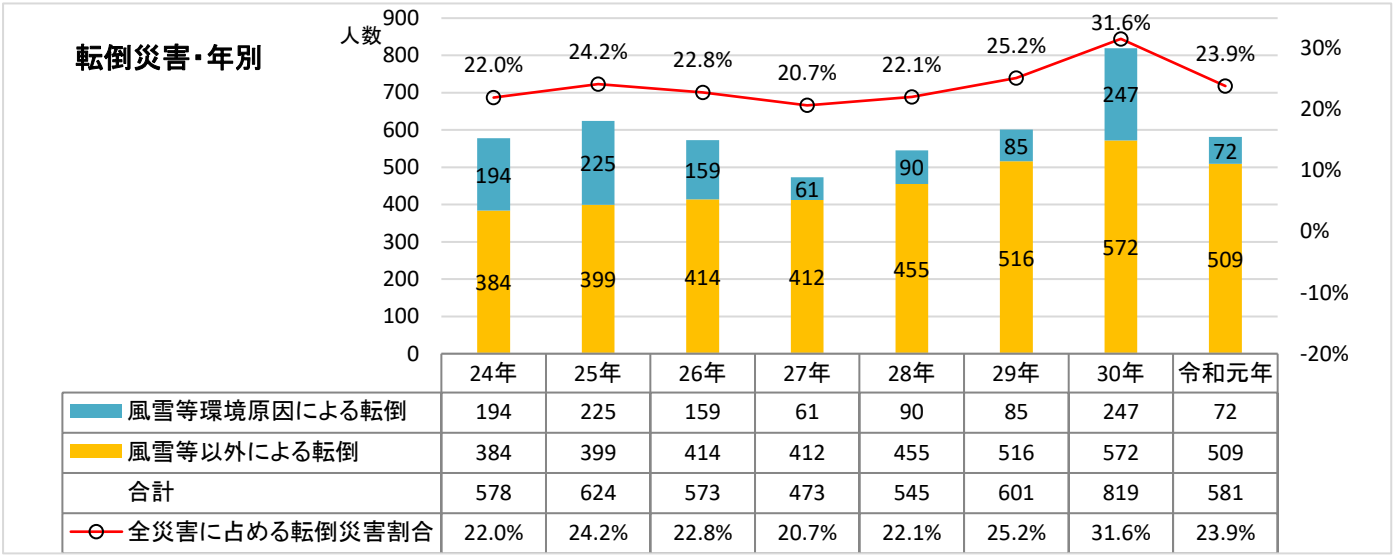
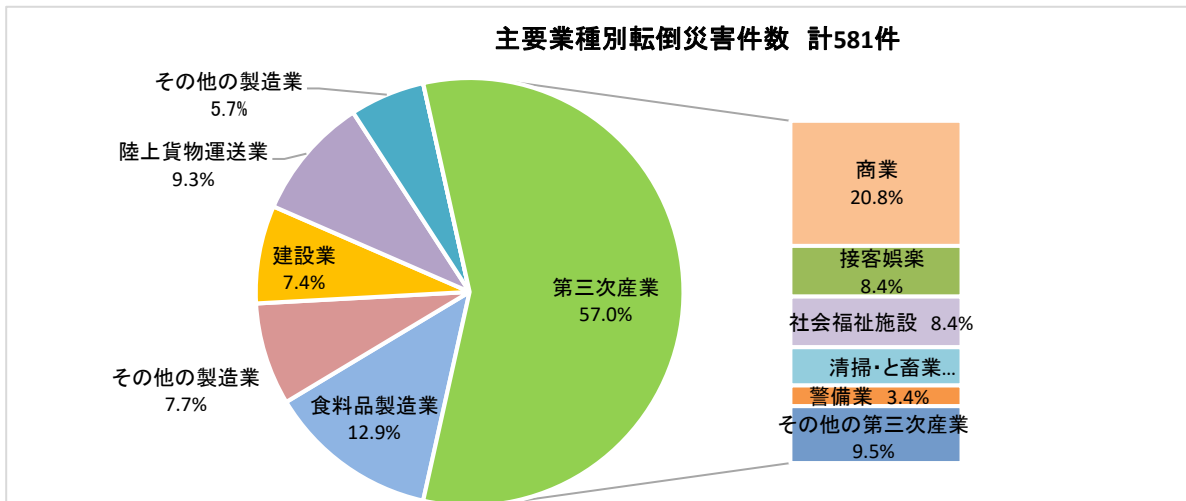


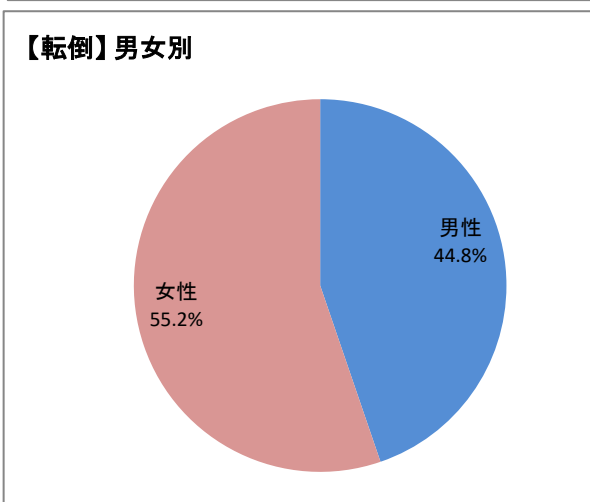
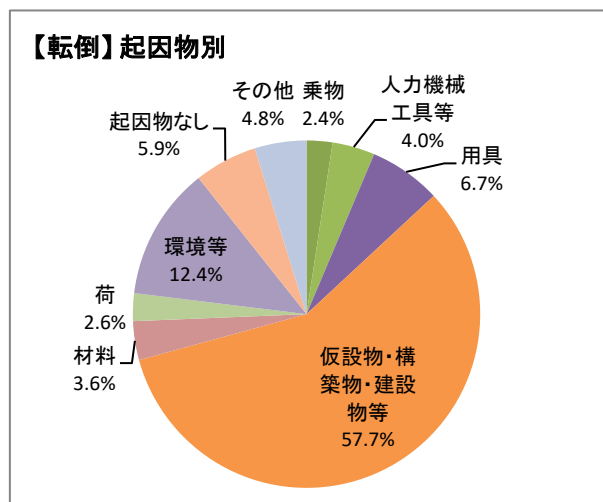
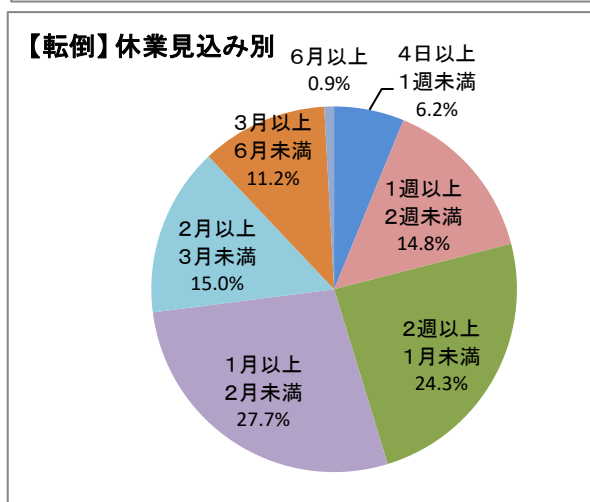
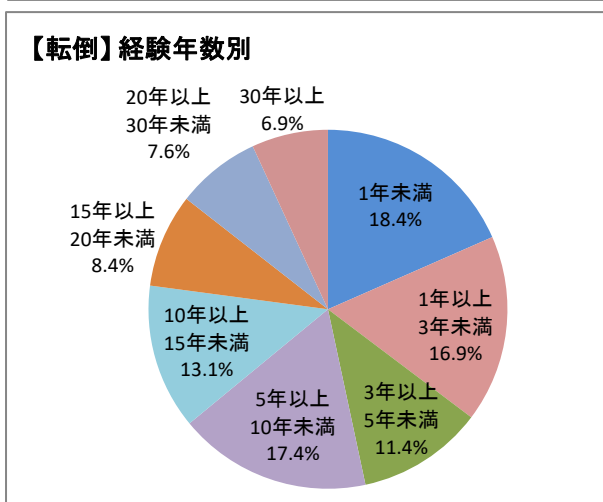
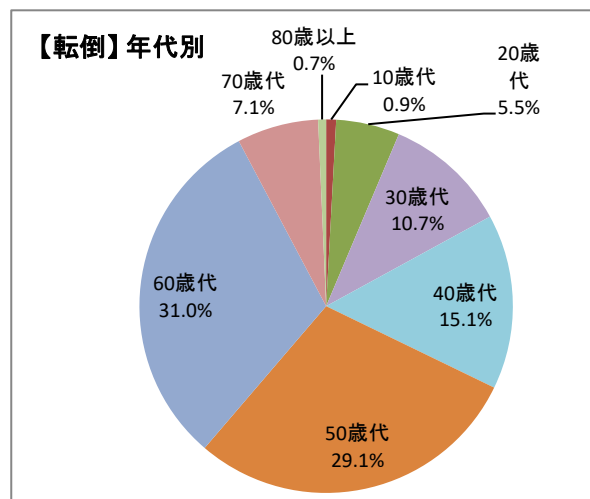
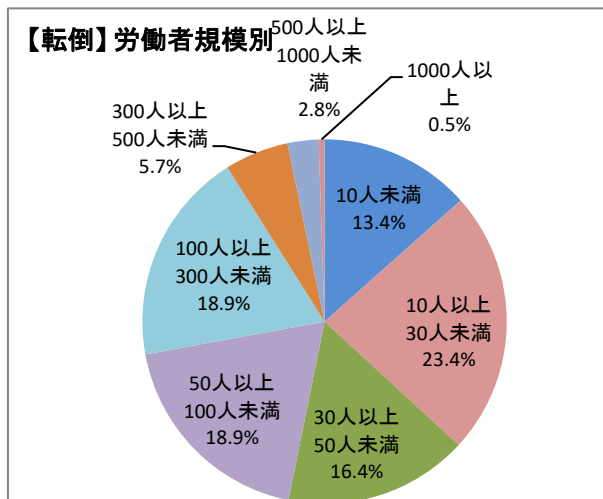
23.転倒災害の状況



主な災害の年代別・男女別の発生状況 (2019年宮城局管内)

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80歳以上		計		総計
	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性			
転倒	1	4	13	19	20	42	39	49	110	59	116	64	20	21	2	2	321	260	581
墜落、転落	1	2	6	33	9	58	15	78	24	101	16	84	8	20		3	79	379	458
動作反動、無理な動作		2	23	20	30	56	41	36	40	41	24	28	6	6	1		165	189	354





1. 転倒災害発生件数は、前年比で238人(29.0%)減少しており、特に「風雪等環境原因による転倒」について175件減少している。全労働災害に占める転倒災害の割合も23.9%と前年よりも7.7%減少している。
2. 業種別にみると、「第三次産業」が57.0%を占めており、特に商業の占める割合が20.8%となっている。
3. 年齢別では、「60歳代」が31.0%と最も多く、次いで「50歳代」が29.1%、「40歳代」15.1%の順となっている。60歳以上は38.1%となっている。特に「50歳代」、「60歳代」の「女性」の割合が高くなっている。
4. 経験年数別では、「1年未満」が18.4%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」が17.4%、「1年以上3年未満」16.9%の順となっている。3年未満が35.3%となっている。